

① 学習指導案

プログラム	No. 11 「地域景観プランナーになろう」
単元名 (全32時間)	「創造しよう 糸魚川市の未来 ～私たちにできること～」
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・糸魚川市が直面する人口減の課題を自分事としてとらえ、まちづくりに対してできることを行動に移す意欲や態度を育む。 ・人間関係づくり活動をとおして、話し合いのスキルを身に付け、自他の考えを折り合いを付けてまとめる力を育む。 ・仲間との対話を大切に、協力して追究活動に取り組む態度を育む。 ・糸魚川市の良さや課題を様々な視点（自然、産業、食、子育て等）から追究する活動をとおして、自分の考えをまとめ、表現する力を育む。 ・まちづくりに関わる市や関係者への提言活動をとおして、自分の考えを再度練り上げようとする意欲や態度を育む。
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス「糸魚川市の現状は？」＜2時間＞ <ul style="list-style-type: none"> ○ 糸魚川市のよさや課題を人口、自然、観光等の視点から共有する。 2 人間関係づくり活動①＜2時間＞ <ul style="list-style-type: none"> ○ 班で課題解決を図る活動を行い、協力することの大切さを実感する。 3 事前学習①「まちづくり講演会」＜2時間＞ <ul style="list-style-type: none"> ○ 市担当職員と移住者の方による講演を通して、市のよさや課題等を全員で共有する。 4 事前学習① 市の建造物や雁木等についての調べ学習＜2時間＞ <ul style="list-style-type: none"> ○ webページや文献等を通して、今と昔のまちの変化を調べる。 5 班単位でのフィールドワーク「ふるさと探訪」＜6時間＞ <ul style="list-style-type: none"> ○ 仲間と協力しながら、まちの調査を行う。 6 糸魚川の自然（ジオサイト見学とまちづくり）＜2時間＞ <ul style="list-style-type: none"> ○ ジオサイトの調査、学芸員の講演を通して、糸魚川市の強みである観光資源の理解を深める。 7 糸魚川市の産業（キャリアフェスティバルへの参加）＜2時間＞ <ul style="list-style-type: none"> ○ 市内事業所の説明を通して、糸魚川市の発展と自分の将来を重ね合わせながら考える。 8 糸魚川市の食と子育て（栄養教諭、家庭科教員の授業）＜2時間＞ <ul style="list-style-type: none"> ○ 伝統料理や特産物の由来などについて理解を深める。 ○ 市の子育て支援策を調べ、自分なりのアイデアを構想する。 9 人間関係づくり活動②「話し合いのコツをつかもう」＜1時間＞ <ul style="list-style-type: none"> ○ 「質問の技カード」を使い、オープンクエスチョンの聴き方を体験する。

	<p>10 人間関係づくり活動③「話し合いの良さを体感しよう」＜2時間＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 4人班でテーマについてのホワイトボードミーティングを行う。 ○ 4人班で「まちづくり構想プラン（案）」についてのホワイトボードミーティングを行い、再調査に向けた改善策をあげる。 <p>11 再調査（班単位でのフィールドワーク）＜2時間＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 仲間と協力し、改善策をもとにインタビュー等の再調査を行う。 <p>12 班でのまとめ→班での発表＜3時間＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 班でプレゼン資料の作成、アナウンス等の練習を行う。 <p>13 「まちづくり報告会」＜2時間＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ゲストティーチャーに対し、班ごとにまちづくり提言を行う。 ○ ゲストティーチャーから感想や質問、意見等もらい、「まちづくり提言」に活かす。 <p>14 練り上げて完成「まちづくり提言書」＜2時間＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ これまでの学びを総動員させ、班の仲間と協力して「まちづくり提案書」を完成させる。
参考資料	『ふるさと系魚川』『第3次系魚川市総合計画2022～2028』
準備品	『系魚川市史全巻』
実施場所等	生徒用タブレット、記録用媒体（USB、DVD等） 学校、訪問施設等

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
2	<p>1 ガイダンス「系魚川市の現状は？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イメージマップを使って、市のよさや課題を共有。 ・人口減少の実際を確認。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元のねらい「創造しよう系魚川市の未来～私たちにできること～」と学習計画(案)を説明し、学習の見通しをもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージマップに自分の考えを5つ以上書くことができる。
2	<p>2 人間関係づくり活動①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間関係の円滑化。 ・活動を通じて協力する大切さを感じ取る。 ・仲間のよさ再発見。支持的な雰囲気集団づくり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動のねらいを説明し、生徒の自主性を見守る。 ・停滞する班に寄り添い、必要に応じて教師が支援する。 ・活動の振り返りを学級で披露し、学級の雰囲気を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・協力して活動に取り組む。 ・自分の言葉で評価を記入することができる。
2	<p>3 事前学習①「まちづくり講演会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市企画定住課職員による系魚川市が目指すまちづくり ・移住者の方による講演「系魚川市の良さと課題」 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料『第3次系魚川市総合計画』の概要を事前に分かりやすく説明しておく。 ・移住者から講演内容に沿ったワークシートを事前に作成しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メモをとりながら聴いている。 ・ワークシートに移住者の内容が確実に記入することができる。

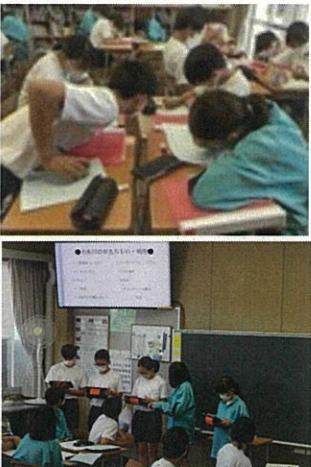


2	4 事前学習① 市の建造物や雁木、通り等についての調べ学習 <ul style="list-style-type: none"> webページや文献等を使った事前調査。 	<ul style="list-style-type: none"> webページや文献以外の家族(祖父母など)へのインタビューを促し、当時の話を聴く活動を奨励する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分のねらいに合った調査を協力して行うことができる。
6	5 班単位でのフィールドワーク「ふるさと探訪」 <ul style="list-style-type: none"> 仲間と協力し調査を行う。 ルールやマナーを守り、ねらいを達成するよう班で確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> タブレット等を活用して写真や動画などを提示し、活動の見通しを持たせる。 ワークシートをまとめやすいように工夫して作成し、配付する。 	<ul style="list-style-type: none"> ルールやマナーを守って調査している。 必要な情報を収集することができる。
2	6 糸魚川の自然(ジオサイト見学とまちづくり) <ul style="list-style-type: none"> ジオサイトを利用した地質学習を行い、ふるさと糸魚川の地質財産に対する見識を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 学芸員と事前打合せをし、まちづくり提言に役立つ観察場所(①フォッサマグナパーク ②フォッサマグナミュージアム、③長者ヶ原考古館)を意図的に選定しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートにまちづくりの視点に関する自分の考えを記入している。
2	7 糸魚川市の産業(キャリアフェスティバルへの参加) <ul style="list-style-type: none"> 市内の全中三生を対象としたキャリアフェスティバルに一部のみ参加し、出展する市内事業所の業務内容を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 各事業所の説明が難しい場合は、体験的な活動に挑戦させるよう促す。 特に印象に残った事業所を一つに絞って考えをまとめるよう指示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートに特に印象に残った事業所と、その理由を書くことができる。
2	8 糸魚川市の食と子育て(栄養教諭、家庭科教員の授業) <ul style="list-style-type: none"> 糸魚川市の郷土料理や特産物に関する学習。 糸魚川市の子育て支援事業をHP等で調べ、それらの事業が必要か班で予想する。 	<ul style="list-style-type: none"> 糸魚川市が計画している駅北子育て総合支援センター(仮称)を説明する。その上で、どのような施設が必要かを、これまでの学びを参考にしながら考えを出し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 伝統料理や特産物をワークシートに多く記入できる。 必要な施設と市の課題を重ね合わせて考えることができる。
1	9 人間関係づくり活動②「話合いのコツをつかもう」 <ul style="list-style-type: none"> 「良い話し合い」とは。 互いの役割について。 オープクエスションの聴き方を体験する。 	<ul style="list-style-type: none"> 意見交換が停滞している生徒を適宜支援する。 「質問の技カード」を効果的に活用するよう指示する。 ペアトークを3回繰り返してコツをつかませる。 	<ul style="list-style-type: none"> 話合う際のそれぞれ役割を理解できる。 オープクエスションの聴き方ができる。
2	10 人間関係づくり活動③話合いの良さを体感しよう	<ul style="list-style-type: none"> ホワイトボードミーティングの手法を、まちづくり提 	



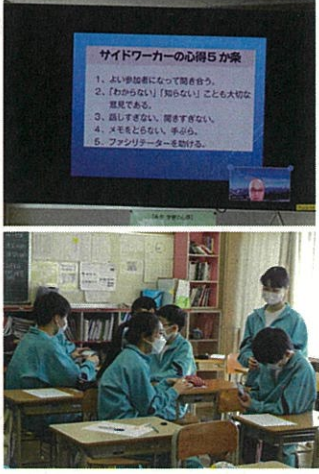
	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ「どんな2年生になりたい？」についてのホワイトボードミーティング。 ・「まちづくり提言(案)」についてのホワイトボードミーティング。 	<ul style="list-style-type: none"> 言のための話し合いスキルに活かすことが目的であることを全員で確認する。 ・学んだスキルを活かし、再調査に向けた訪問先への依頼を行うよう指示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり提言について、再調査に向けた改善策を5個以上あげることができる。
2	<p>11 再調査活動（班単位でのフィールドワーク）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まち再調査を行う。 ・聴き取り等を行い、まとめのプレゼンシートに入力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校外に再調査に出かける班や校内でwebページ等を使って調査する班等、様々であることから、職員分担を決定しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査活動で明らかにしたいことが、ワークシートに確実に明記してある。
3	<p>12 班でまとめ、班で発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションの作成について、班で練習する。 ・効果的なプレゼンテーションのやり方を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手を意識したプレゼン作成を心掛けるよう指示する。 ・プレゼンを確認する時間を確保し、すべての班に助言できるように配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分担を決め、協力してプレゼン練習に取り組んでいる。
2	<p>13 「まちづくり報告会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャーへ向けたまちづくり提言。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いただいた感想や質問意見等をまちづくり提言に活かすよう、指示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・再度練り上げようとしている。
2	<p>14 練り上げて完成「まちづくり提言書」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学びを総動員させ、班の仲間と協力して「まちづくり提案書」を完成させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての生徒が、班で作成した提言書を自分の言葉で説明できるようになろう！と投げかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「まちづくり提言書」を自分の言葉で説明することができる。

② 事業実施報告書詳細


学校名 糸魚川市立糸魚川中学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
2	多目的室 各教室	<ul style="list-style-type: none"> イメージマップを使って、糸魚川市のよさや課題をあげ、学級全体で共有する。 糸魚川市の人口減少の実際をグラフで確認する。 	 <p>P.5 人口の将来展望</p> 	<ul style="list-style-type: none"> よさに着目する生徒が多く、前向きに捉える実態が掴めた。 将来人口が激減する現実直面し、自分事として捉える生徒が多かった。
2	体育館	<ul style="list-style-type: none"> 固定されがちな人間関係を円滑にする。 協力して課題を解決する経験を通じて力を合わせる大切さを体験する。 活動を通じて、普段みられない友人のよさに気づき、支持的な雰囲気集団づくりを目指す。 	 	<ul style="list-style-type: none"> 「協力、対話力課題解決能力」の定着を目指し本単元の学びと併せて育成していく。最初は戸惑い、関わりが苦手だった生徒も、緊張がほぐれ自分から能動的に動くようになった。
2	多目的室	<ul style="list-style-type: none"> 糸魚川市企画定住職員による糸魚川市が目指すまちづくり講演を行う。 移住者の方による講演「糸魚川市の良さと課題、そしてこれから」を聴く。 	 <p>自己紹介 坂平back&flowers 同会 真生</p>  	<ul style="list-style-type: none"> 高度な内容を想定し、事前にアウトラインを示したことで、市の人口対策を概ね理解できた。 二人の1ターン移住者の講話で今まで気付かなかった視点を知らることができたようだ。多くの生徒が感想で述べていた。

2	各教室 図書室	<p>市の建造物や雁木、通り等についての調べ学習</p> <ul style="list-style-type: none"> • webページや文献等で、糸魚川のまちの変化を調べる。 • 調べたことを発表し仲間から意見や感想をもらい、調査活動に活かす。 		<ul style="list-style-type: none"> • webページに頼りがちだったが文献や祖父母等への聞き取りを促すと、当時を知るお宝に出会うことができた生徒もいた。活動への取組が前向きになっていった。
6		<p>「ふるさと探訪」</p> <ul style="list-style-type: none"> • 仲間と協力しながらまち並みの調査を行う。 • 交通ルールやマナーを守り、活動のねらいを達成するよう班で確認し合う。 		<ul style="list-style-type: none"> • 遠足的行事に、総合学習として「まちづくり」を組み合わせ実施した。まち調べという目的ができたことで知的好奇心が湧き上がる活動であった。
2	校外（各ジオサイト）	<p>ジオサイトの見学</p> <ul style="list-style-type: none"> • 身近な地形・地層・岩石等の観察を通して、地表の様々な事物・現象を大地の変化と関連付けてみる見方考え方を養う。 • ジオサイトを利用した地質学習を行い、ふるさと糸魚川の地質財産に対する見識を深める。 		<ul style="list-style-type: none"> • 「まちづくり」には自然と観光の視点が欠かせない。そう考える生徒が多かったため、理科の時間に見学に出かけた。ジオサイトをもっと国内外に発信する方法はないか、と考える生徒が多く見られた。
2	市総合体育館	キャリアフェスティバルへの参加		<ul style="list-style-type: none"> • 市内の中3生を対象とした事業

		<ul style="list-style-type: none"> 市内の全中三生を対象としたキャリアフェスティバルに一部のみ参加し、出展する市内事業所の業務内容を知る。 自分らしい生き方を実現するための「夢をおこす力」を育てるために、「地域の大人と対話する」「自分の未来を考える」機会を創出する。 		<p>に、当校1年生が2時間だけ参加させていただいた。「糸魚川でもできる」という発想を聞きまちづくり学習の意義を再確認する生徒が多くいた。</p>
2	家庭科室	<p>栄養教諭、家庭科教員のTT授業</p> <ul style="list-style-type: none"> 糸魚川市の郷土料理や特産物を書き出しそれらが糸魚川市で広がった理由を様々な視点から予想する。(地形、気候) 糸魚川市の子育て支援事業をHP等で調べ、各事業が必要か班で予想する。 		<ul style="list-style-type: none"> 県境に位置することが要因の一つであることに気づき、驚く生徒が多かった。 子育て総合支援センターに完備してもらいたい母親支援策を多くの生徒が述べていた。
1	各教室	<p>話し合いのコツをつかもう！</p> <ul style="list-style-type: none"> よい話し合いについて意見交換する。 ファシリテーター、サイドワーカーの役割等に関する講義を聴く。 オープクエスチョンを体験する。 		<ul style="list-style-type: none"> 日常的にペアトークを導入している学級の生徒は、対話がスムーズだった。 慣れていない学級の生徒もペアトークの効果を実感していた。
2	多目的室	<p>話し合いの良さを体感しよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> 4人班でテーマ「ど 		<ul style="list-style-type: none"> サイドワーカーの役割が重要であることを多く

		<p>んな2年生になりたい？」について、ホワイトボードミーティングを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4人班で、「まちづくり構想プラン案」について、ホワイトボードミーティングを行う。 		<p>の生徒が理解した。身に付けた話合いのスキルを駆使して、まちづくり構想プラン案について話合いを深めることができた。</p>
2	校外 各教室 図書室等	<p>再調査活動（班でのフィールドワーク）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間と協力して、まち調査を行う。 ・改善策をもとに、聴き取り等を行い、まとめのプレゼンシートを入力する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・再調査で校外に出た班は僅かだったが、機会を保障することが大事だと改めて実感した。
3	各教室	<p>班でまとめ、班で発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションの作成やアナウンス映像や音声等の効果について、班で練習する。 ・効果的なプレゼンテーションのやり方を検討する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・入念に原稿を点検する生徒、プレゼンの効果音にこだわる生徒、教師に助言を求める生徒等、意欲的な態度が多く見られた。
2	多目的室	<p>「まちづくり報告会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャーの糸魚川市役所企画定住課職員、1ターン移住者の方へ向けてまちづくり提言を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ・利点である交通の要所に着目した提言や、広大な自然を活用した若者をターゲットにした音楽フェス等、大人が気付かなかったアイデアが多く提言された。

2	各教室 多目的室	練り上げて完成「まちづくり提言書」 ・これまでの学びを総動員させ、班の仲間と協力して「まちづくり提案書」を完成させる。		・報告会の後、自発的に生徒が集まり、再度仲間の提言に対し、意見や助言を与える場面が見られた。
---	-------------	--	--	--

③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <p>既存の学校行事や市主催の行事等と関連付けることで、相乗効果を図った。また、ゲストティーチャーの活用や校外への調査活動等、学びを校外に広げたことで、生徒の学習意欲の向上に繋がった。さらに、対話を重視するために、話し合いの仕方を学ぶ研修会を数時間にわたって実施した。生徒と共に教職員の研修にもつながり、学校全体がレベルアップしたと考える。</p>
<p>(2) 実施にあたり苦勞した点</p> <p>学習が深まるほど、生徒の好奇心は広がっていく。できるだけ生徒の追究活動を保障したいが、雪国新潟の冬は厳しく、冬の校外学習には制限をかけざるを得なかった。年間計画を構想する際、季節等を考慮した立案が必須だと改めて感じた。</p>
<p>(3) 生徒の反応</p> <p>内容が高度で、ややもすると情緒的なまとめに陥りがちだが、科学的根拠や足で稼いだ情報を根拠に、提言書をまとめた班が多かった。話し合いのスキルを学びながら、単元のねらいに迫っていくことができ、今後の活動（授業や特別活動等）で自律した姿が見られるはずである。</p>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <p>当初、総合学習「まちづくり提言」を核に単元を構想した。しかし、教科や特別活動と関連付けた横断的な学習へ広げたことで、1年生に関わるすべての教職員がねらいを意識するようになった。日々の授業を通して、教職員のスキルアップにも繋がっていった。</p>
<p>(5) 今後の課題と取り組み〔生徒の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕</p> <p>今年度の1年生の取組を、次年度の1年生でも継続して実施していく。単元の時数が多くなるため、今年度末のうちに、横断的な単元学習計画を作成しておく必要がある。</p> <p>また、来年度の2年生として今年度の学びを発展していくために、アントレプレナー教育を核とした実践を構想している。単なる職場体験学習にとどまらず、近年糸魚川市でワーケーション等の新しい働き方をしている方々と交流する方法等も構想している。糸魚川をネガティブに捉えず、「糸魚川でもできる」というポジティブな考えを育てていきたい。</p>